



2023年12月8日発行

## 👤 PTAのお話

12月議会では再度「PTAの問題」も取り上げます。教育長と何度も激突しているPTA問題ですが、時代の変化と共にPTAも変化することが強く求められています。

11月6日の東京新聞朝刊に「加入してないのにPTAから退会届？」という見出しの記事が載りました。**任意加入が基本のPTA**なのに、「自動加入」になっている学校があるというのです。自動加入だから、退会するには「退会届」を出せ！そう言っている訳です。入会していないのに退会？そんな**非常識**がまかり通ってはいけません。

最近では、PTAの仕事を見直して、行事ごとに**ボランティアを募る学校が増えて**来ています。その方法だと、「PTAの仕事を押し付けられるのは嫌だ」でも「学校には協力したい」という多くの方達に支持されるのではないのでしょうか。

僕がいた新設の新座五中にはPTAがありませんでした。10年間、教師と生徒だけで全ての行事を盛り上げて、学力でも県内トップを誇る学校になりました。勿論、保護者も地域の方も応援してくれましたが、PTAという組織は10年間なかったのです。

次の六中で初めてPTAのTの側になりました。担任としては役員を決めるのが大変でした。1・2年ではなかなか決まらないことが多く、3年生になると突然サッと決まる。どうやら、内申に影響がある・・・というデマが飛び交っていたのが理由のようでした。

教師サイドから見ると、PTAの役員と内申は全く関係ありません。そんなもので生徒を評価することなど絶対にないのです。

だから、**安心して下さい**。PTAに入らなくても子ども達が不利益を被ることは無い！教育長も議会でそう答弁しています。

**新しいPTAの形**を目指しましょう！ 🤖



六中**赤ジャージ**の教え子、植田努の作品を見に、日展に行きました。多くの素敵な作品に出会えて幸せな一日でした！ 🤖

## たかやんのプロフィール



本名たかむらともや  
54年東京青山生まれの  
新宿育ち。新宿区立西戸山中、都立石神井高、北海道大から、新座五中1期生3年4組の担任に。

当時は**校内暴力吹き荒れる時代**、新任が中三の担任をすることなど考えられない時代だった。それでも担任ができたのは、担任以上に悪い子はいなかったから(笑)

当時の先輩達と子ども達には滅茶苦茶鍛えられました。**酷い先輩達**でした。(笑)

「何で**幻**なの？」この間も聞かれました。

実は21年間の内の20年間書き続けた学級通信が『一生懸命』**幻**の学級通信という名前だったのです。五中時代は年間100号を超える程度でしたが、六中の10年間と二中の1年間は**毎日発行**していました。これはその**続編**でもあるのです。

写真上はカナダ生まれのウユです。まだ2歳の超お転婆の女の子です。(笑) 🤖

## 先生からの手紙2

美佐子先生から手紙が来ました。小包の中には僕の小学校1年生の時の文集が入っていました。西戸山小学校1年4組の文集”なかよし”1961年3月です。

その中には僕の作文と一緒に僕の両親の文も掲載されていました。

おふろ たかむら ともや  
ぼくは、きょうおふろへ、くにこちゃんといきました。くにこちゃんにおかしをもらいました。おふろへいるとおなかがいたくなりました。そして、うちへかえりました。

ともやちゃん  
ともやには、お兄ちゃんばかりで、弟がいません。だからともやは、すこしあまえます。お父ちゃんが、やすんでいると、すぐまたがって馬にします。

また、ともやはよくばりです。すぐ、おなかがいっぱいになるのに、お兄ちゃんと同じだけ欲しがります。だけど、いつも明るく、気前がよく、なんでもみんなにわけます。いつも、自分が正しいと思っているようです。

お父さんもともやは「ズル」をしない子と思っています。お父ちゃんは、ある夜はお仕事で、ある夜はお酒を飲んで、ある夜はマージャンなどで、ともやと一緒に夜が少ないのです。だから、お休みの日は、出来るだけ、あそんでやりたいと思います。だけど、なかなか子どもの世界についてゆけないのです。(高邑 新太郎)

路上の虫をみて「ふんずけちゃうとしんじょうよ」「そうね、かわいそうね」「むしのおうちさがしてあげようね」「そうね」「あそこむしのおうち?」「ちがうでしょう、おさんぽよ。きっと」「そうか、おうちをさがしてあげようね」二年と七か月の朋矢のあるひと時・それが、もうじき二年生、早いものです。(高邑 ひさ子)

この”なかよし”を読んで、本当に素敵な先生と出会えたことを幸せに思いました。僕の原点がこの中に詰まっていると思ったのです。

自分では意識していないところで両親に愛されて育ち、先生にも愛されて育ったのですね。

邦子ちゃんは公務員住宅に住んでいた時の隣の家のお姉ちゃん。4つ上だったので、僕が小学校3年生の時には中学校1年生だった筈です。僕は小学校3年まで中学生の邦子ちゃんと一緒に銭湯に行っていた記憶があります。

僕は全く意識していませんでしたが僕の『一生懸命』にも、子ども達の作文と一緒に、保護者の感想を掲載していました。それがまた面白いのです。

きっと、無意識に”なかよし”の影響を受けていたのでしょう。

子ども達の作文は可愛くて面白い。親の感想はこれがまた超面白い。昔の学級通信を読むとそう思うのです。



右上が美佐子先生で、その隣が僕です。これは多分、西戸山小学校の3年4組が解散する時の写真だと思います。

僕は2月生まれなので、体も小さいし勉強もイマイチで自信がなかったのですが、美佐子先生は3年間ずっと優しく見守ってくれました。この時僕は7歳か8歳。美佐子先生は26歳か27歳。

この写真から、62年の月日が経っても先生と僕は文通しているのです。

